

一般社団法人 千葉県



作業療法士会 ニュース

Chiba Association of Occupational Therapists News



2022.1.20 理事会の様子

発行責任者：坂田祥子

編集者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 広報部 広報委員会

発行者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 事務局

〒266-0031 千葉県千葉市緑区おゆみ野 4-21-1 スカイビルおゆみ野 2階

TEL 080-3317-7864

発行：2022年 3月

<http://www.chiba-ot.ne.jp>

No.

75

2022.3

理事会報告

2021年度 第9回 理事会

日時：2021年12月14日（火） 19:00～21:35 WEB会議

参加：坂田・須藤・松尾・有川・大塚・熊谷・今野・多田・土居・野口・鎗田・池澤・露崎・池滝 計14名

【検討事項】

1. 令和3年度臨時総会について

・3月21日（月・祝）10:00～ 対面での開催を予定。⇒承認

2. 選挙の立候補届における電子印鑑の使用について

・コロナ禍にあり、対面交渉が困難。代議員選挙等での電子印鑑の使用を検討した。

⇒電子署名法も制定されており、適切な手続きを踏んで作成したものを認める。

選管委員長名で周知する。

3. 会費納入シールの廃止について

・対応業者の廃業に伴い、納入シールは廃止 ⇒ 承認。代案については継続審議。

【連絡事項】

1. 会員からの問い合わせについて

・県士会員より事務局に問い合わせあり（事例データ削除依頼）
⇒業者確認実施。再発防止策を検討中。

2. ホームページ上のPDFファイルの管理方法について

3. 令和3年度第1回千葉県介護予防市町村支援検討会議議事報告について

・今後、県士会として人材の派遣をどのように考えていくのか方針を示していく。

4. 災害対応訓練最終報告について

・9月25日11時実施：第1報164 / 361件確認 最終197 / 361件確認。

5. 日本作業療法士協会 令和3年度 第2回生涯教育推進担当者会議参加報告について

6. 生活期リハ実務者研修会（千葉POS）報告について

7. 日本作業療法士協会「特別表彰」表彰候補者の推薦について

8. 令和3年度千葉県医療団体連携の会 懇親会中止について

9. 表彰受賞者祝電における礼状について

10. コロナ禍での県士会活動（運転特設委員会研修）審査報告について

11. 47都道府県委員会参加報告について

・組織率向上対策について、第4次5か年戦略案の報告と意見収集、協会組織改編
（新たな47委員会のあり方の提案）

【相談事項】

1. 代議員選挙について

・代議員の推薦、立候補の受付を開始。

リモートによる人間作業モデル講習会

新型コロナウイルスのため対面式の人間作業モデル（MOHO）講習会が開催できなくなったため、以下の日程により、Zoomを用いてMOHOの遠隔地教育を実施します。ご参加をお待ちしております。詳細は当研究所のホームページ（rimohoj.or.jp）の講習会をご覧ください。時間は9時から17時です。

MOHO 講習会 3月12-13日、4月16-17日、5月14-15日、6月11-12日の2日間

MOHO 評価法講習会 2月5-6日、4月30-5月1日の2日間

MOHO 精神科講習会 5月28-29日の2日間

MOHO 認知症講習会 6月14-15日の2日間

MOHO 発達期講習会 2月12-13日の2日間

MOHO 1日講習会

基礎・評価法編 2月27日・日、5月7日・土 治療編 3月17日・日、6月4日・土

講師：一社日本人間作業モデル研究所代表理事、東京保健医療専門職大学作業療法学科教授 山田 孝

申込方法 当研究所のホームページ（rimohoj.or.jp）の講習会の欄にあるWeb申込フォームよりお申込みください。

主催 一般社団法人 日本人間作業モデル研究所

後援 一般社団法人 日本作業行動学会

学術誌編集委員、査読委員の公募について

平素より千葉県作業療法士会 学術部 学術誌編集委員会の活動にご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。

この度、学術誌編集委員会では**学術誌編集委員および査読委員の公募**を行います。

様々な領域から、学術誌編集や査読にご尽力いただける方の応募をお待ちしています。

ご興味がございます方がおられましたら、**下記メールアドレス、またはQRコード**

(<https://questant.jp/q/HS99TFJF>) からご連絡ください。 よろしくお願い申し上げます。

活動内容

編集委員

- 学術誌の編集、発行
- 投稿論文のハンドリング（編集者として査読者や投稿者とコンタクトをとる）
- 投稿論文の採択可否についての最終決定

査読委員

- 投稿論文の査読（質の高い論文にするための助言、論文受理の可否判定）

募集条件

1. 修士以上の学位を有する方、修士課程在学中の方、修士課程進学を検討中の方
2. 筆頭著者として原著論文・総説論文・事例報告・実践報告等の報告経験がある方
3. 筆頭演者として学会発表経験のある方（全国・県・ブロック地区等を問わない）
4. 日本作業療法士協会 認定作業療法士取得研修 共通研修「研究法」の受講修了者
5. 学術誌の編集や査読に関心がある方
6. 県士会活動や研究活動に興味がある方

* 編集委員・査読委員とも、1～4のいずれかを満たすことで作業は行いやすいと思いますが、**県士会や研究に関心のある方を広く募集します。お気軽にお申し込みください。**



連絡先

千葉県作業療法士会 学術部 学術誌編集委員会
委員長 河野 眞（国際医療福祉大学成田保健医療学部）
委員 熊谷 将志（東京湾岸リハビリテーション病院）
E-mail: chibajournal@yahoo.co.jp

一般社団法人 千葉県作業療法士会代議員選挙公報

千葉県作業療法士会選挙管理規定第8条に基づく代議員の選挙について令和3年12月8付で公示し、立候補を募りました。その結果、立候補者数が代議員の定数を満たさなかったため、選挙管理規定第15条により、全員が無投票当選となります。選挙管理規定第12条により、立候補者の意見表明や選挙区別・氏名昇順で以下に原文掲示します。

東葛北部選挙区 立候補者 8名（定数 7名）

氏名	須藤 崇行	この度、代議員選挙に立候補いたしました野田ライフケアセンターの須藤崇行です。これまでの県士会活動としては、平成24年の千葉県生活行為向上マネジメント委員会の立ち上げから関わり、平成29年からは学会委員会の委員長として活動してきました。また平成30年からは理事として、令和2年からは副会長として県士会運営に携わってきました。昨今の作業療法士を取り巻く環境の変化は目まぐるしく様々な問題や課題がありますが、まずは千葉県士会という組織を強く強固なものにし、作業療法士の地位の確保に努めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。
所属	野田ライフケアセンター	
氏名	野口 晴康	この度、千葉県作業療法士会東葛北部代議員に立候補させていただきました野口晴康です。令和3年度まで、理事として教育部臨床実習指導者講習会委員会と現職者研修委員会、災害対策委員会、東葛ブロック担当理事に携わせて頂きました。生涯教育制度の現職者共通研修・選択研修はコロナ禍においてオンライン開催に移行し、円滑に開催できました。また手帳の電子化に伴う登録作業も開始しております。臨床実習指導者講習会委員会では講習会の開催とフォローアップ研修会において今後の臨床実習制度の改革に備えて、悩みや不安の軽減・スキルアップを目指した研修会の開催に携わりました。東葛北部ブロックは令和3年度の千葉県作業療法学会担当を担っており、現在開催に向けて、準備委員の皆様との連携、打ち合わせを繰り返しています。災害対策委員では発災時の対応や千葉 POS、JRAT 等、他の医療関連団体との連携、平時の研修会開催等の災害対策の整備に努めてきました。引き続き、千葉県作業療法士会が今後も皆様の繋がりのハブとして支えになる様、尽力して参ります。宜しくお願い致します。
所属	五香病院	
氏名	菅澤 延之	この度、千葉県作業療法士会東葛北部代議員に立候補させていただきました菅澤延之です。令和2年から臨床実習指導者講習会の運営に携わせて頂いております。過去には平成29年の第18回千葉県作業療法士会学会の運営にも携わせて頂きました。
所属	五香病院	若輩者にて、周囲の経験ある先輩方のお力添えを多分に戴きながらの活動ではありますが、そのなかで微力ながら、作業療法士として育っていく後輩たちが作業療法士として楽しく、誇りをもって学び、働ける地域の構築に取り組んでいきたいと考えています。また、千葉県作業療法士会の活動を通して、作業療法士ならではの視点を他職種にも知ってもらえるよう働きかけていきたいと思ひます。宜しくお願い致します。
氏名	桑田 良子	平成15年に作業療法士となり、精神科病院に勤務後、中核地域生活支援センターでコーディネーターと、障害者グループホーム等支援ワーカーを12年続けてまいりました。現在は松戸市基幹相談支援センターで相談員をしております。加えて千葉県のサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の研修、我孫子市障害者介護給付等審査会の審査員、介護職員初任者研修の講師など主に支援者支援の業務を行っています。
所属	小金基幹相談支援センターおんぶ	普段、支援者の方々とお話をし、ネットワーク作りをしていると、支援者自身を支える仕組みの必要性を日々実感します。職能団体はまさに、支援者自身を支える機能を持ち、現場の声を制度や政策という仕組みつくりにつなげる役割を持っていると考えます。暮らしや生活を支援している作業療法士の職能団体をお手伝いさせていただきたいです。
氏名	高山 大輔	東葛北部ブロックは今年度の学会担当となりました。私が学会長の大役を拝命し、東葛北部ブロックの皆さんや学会委員会のスタッフの方々と学会準備を行ってきました。学会準備を進めていく中で、ブロック内・外の多くの皆さんと繋がり意見交換を行うことで、私自身の臨床を見つめ直すきっかけにもなりました。自分の職場以外の人と繋がり高め合うことが出来る。そんなきっかけを県士会活動を通して得ることが出来ました。
所属	野田病院	皆さんにも積極的に県士会活動に参加して頂き、結果として県士会に参加してよかったと思えるような組織作りを代議員としてサポートしていきたいと考えています。
氏名	古橋 理恵	松戸健康福祉会館のこども発達センター・障害者福祉センターに勤務しております古橋理恵と申します。作業療法士になってから、ずっと現在の職場で主に発達領域の作業療法に医療と福祉の両面から支援を行っています。県士会では教育部、学術部とお世話になり、そして過去に東葛北部ブロックで学会が開催された折には企画運営にも関わらせていただきました。現在は発達障害委員会の委員会を拝命しております。発達障害は県内に限らず全国的にもまだまだ専門で行う機関も OT 自身も少ない分野ですが、一方で地域や利用者からの期待は大きく、葛藤する毎日です。地域や発達領域、ひいては県士会全体を見据えながらわずかながら力になればと考え立候補させていただきました。よろしくお願いたします。
所属	松戸市健康福祉会館	
氏名	小嶋 貴央	この度、代議員選挙に立候補させていただきました、松戸リハビリテーション病院の小嶋貴央と申します。前回に引き続き立候補させていただいております。今年度より、県士会主催の学会活動に関わらせていただいております。運営の大変さや難しさを感じました。しかし、学会運営に関わる中で、コロナ禍において少しでも研鑽を積める場を提供していく必要があると、より一層感じるようになりました。これからは作業療法士が活躍できる場を提供して行けるように、代議員として寄与して参りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。
所属	松戸リハビリテーション病院	

一般社団法人 千葉県作業療法士会代議員選挙公報 2

氏名	蒔原 拓人	この度、代議員選挙に立候補させていただきました。松戸リハビリテーション病院の蒔原拓人と申します。昨年度同様に今回も代議員として立候補させていただきました。今も続く新型コロナウイルス感染症の影響もあり色々な制限がある中で、より作業療法士として地域との連携を意識していくことの重要性と作業療法の必要性を伝えていくことを再認識致しました。来年度も代議員という立場から県士会活動や地域活動を通して作業療法の在り方や意義を地域の方々に伝えていくことに寄与出来ればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。
所属	松戸リハビリテーション病院	

東葛南部選挙区 立候補者 12名（定数 13名）

氏名	熊谷 将志	この度、千葉県作業療法士会代議員選挙に立候補いたしました。東京湾岸リハビリテーション病院の熊谷将志です。私自身が携わらせていただいている主な県士会活動としては、臨床実習指導者講習会委員会・学術誌編集委員会・企画委員会・東葛南部ブロックがあり、委員や士会員の皆様にはいつも大変お世話になっております。県士会活動は、活動それ自体に関わる委員の方や会員として県士会を支えてくださる方など多くの方が関わってくださっております。県士会活動に携わらせていただく中で、日々県士会や会員のことを考え、より良い活動をしていきたいと奮闘される方が私の身近にはたくさんおります。そのような思いに溢れた活動を、微力ではございますが、代議員としてより良い方向に繋げる一助ができればと考え、この度の選挙に立候補させていただきました。皆様からのご支援を頂戴できましたら幸いです。ご支援賜えますようどうぞよろしくお願い申し上げます。
所属	東京湾岸リハビリテーション病院	

氏名	村松 裕須圭	この度、代議員に立候補させていただきました村松裕須圭と申します。私は回復期病院（病棟、外来・通所、訪問）と訪問看護ステーションを経て、より地域を意識した包括的な支援を担いたく今は児童発達支援事業所に市の職員として勤務しております。県士会活動では、主に東葛南部ブロックでの活動に携わり研修会や交流会の企画・運営を毎年行ってきました。しかし、参加者の確保や会員のニーズに合った内容決め等、改善をしていかなければならない課題が多くあります。会員同士が繋がる、そして外部へと目を向けられる場・機会の提供のみではなく、東葛南部の作業療法士の声の一つでも多く拾い上げ、一緒に県士会活動や地域を盛り上げていける体制を作る事が大切だと感じております。今後とも県士会の更なる発展のために微力ではありますが貢献させていただけたらと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。
所属	船橋市西簡易マザーズホーム	

氏名	横山 誠治	私は、認知症対策委員会の委員長として、POSとともに認知症リハビリテーション専門職研修を実施してきました。この研修は好評なため継続していきます。さらに認知症の人と家族の会の方と一緒に何かを企画し、この研修の修了者等に学びや活躍の場ができたらいいなと考えています。
所属	介護老人保健施設ハートケア市川	私自身は市川市でもリハビリテーション協議会を立ち上げ、リハビリ本来の形、セルフマネジメントを地域住民や各専門職に促していこうと、市川市やいろんな方達と一緒に、画策中です。そちらもまた千葉県作業療法士会等と共有したいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

氏名	池澤 直行	市川市役所身体障がい者福祉センターの池澤直行と申します。私の主要な担当領域は障がい者支援ですが、災害時の福祉避難所の運営や、昨今のコロナ禍においてはワクチン接種や経済的支援に関するコールセンターなどの業務も、行政の職員として携わってきました。OTの資格を持っていても、行政においては市民の福祉の向上のために、いろいろな領域にかかわることになります。こうしたポジションからの視点も、OTの職域を拡大したり、県士会活動の多様性や質を高めていくことにつながると思います。私自身はもとより、あとに続く人々への道筋をつけるためにも、引き続き存在をアピールしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。
所属	市川市身体障がい者福祉センター	

氏名	佐々木 竜司	私は現在、船橋市立リハビリテーション病院（以下、当院）の回復期リハビリテーション病棟に勤務しております。生活期にて従事していた時期もあり、それを活かして県士会の生活行為向上マネジメント（以下、MTDLP）推進委員として5年活動してきました。現在もファシリテーターや講師を担いつつ、MTDLPの普及啓蒙活動に取り組んでおります。近日では運転特設委員会にも出席させて頂きました。当院での自動車運転再開支援の経験を活かして、少しでもお困りの方々の力になればと考えております。
所属	船橋市立リハビリテーション病院	この度、千葉県における作業療法全体の発展のため、上記に加えて、さらに活動の幅を広げたいと考え、立候補致しました。微力ではございますが、皆様とともに励んでいきたいと考えております。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

氏名	佐々木 啓人	この度、令和4年度の千葉県作業療法士会・代議員選挙に立候補致しました。佐々木啓人と申します。作業療法士としては関西にある精神科病院内の認知症治療病棟で専従として3年半、千葉県内の急性期・回復期病院で1年、現在所属している総合リハビリ訪問看護ステーションで6年、業務に携わってきました。また、昨年度からは船橋市訪問リハビリテーション連絡会の会長として、市内の訪問リハビリテーション事業所同士の橋渡しを担わせて頂いています。千葉県士会には、弊社に勤めてから所属させて頂くようになり、数々の研修会で委員の皆様や会員の皆様と交流する機会を持てるようになりました。日々業務に携わっているとどうしても視野が狭くなりがちで、そうした中で県士会の企画に参加させて頂く事で今まで沢山助けられた事がりました。そうした経験を踏まえて、今回は県士会の皆様の為に関わりたいと思ひ、立候補させて頂きました。
所属	総合リハビリ訪問看護ステーション船橋サテライト	

一般社団法人 千葉県作業療法士会代議員選挙公報 3

氏名	坂田 祥子	千葉県作業療法士会の活動に監事や理事として携わって14年経過し、平成30年6月からは、会長という重責を皆様のご支援・ご協力のもと務めさせていただきました。令和3年には県士会内や関係団体・機関との連携を推進すべく組織体制を再編し活動を開始しましたが、これからも更に実質的な活動を重ね充実を図っていく必要があると感じております。個人的には、私は県士会を通じて地域や社会を知り多くの学びを得ました。そのような場合は会員自ら作らなければ存在しません。是非、皆様と一緒に私たちの求める県士会をつくっていきたくらいと願い、このたび代議員に立候補をさせていただきますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。
所属	東京湾岸 リハビリテーション 病院	
氏名	金平 智恵美	この度、初めて代議員に立候補させていただきます金平智恵美です。急性期・回復期・生活期の病院でのリハビリ、通所リハ、訪問リハ、特別養護老人ホームでのリハビリ、介護実習普及センターでの自助具工房・福祉用具開発支援など様々な分野の作業療法を少しずつ経験した後、作業療法士育成に携わるようになって13年になります。千葉県作業療法士会では、学会委員として千葉県作業療法士学会の準備・運営をお手伝いさせていただいています。現在の業務の中で、卒前教育と卒後教育の連携の重要性や新卒者の県士会入会率の低さを強く感じており、少しでもお役に立てればと思い立候補いたしました。先輩方が作り上げてきた県士会活動をより盛り上げ、さらに良いものへと発展できるよう努めて参ります。よろしくお願いたします。
所属	八千代 リハビリテーション 学院	
氏名	道願 正歩	代議員選挙に立候補させていただきました、東京湾岸リハビリテーション病院で勤務しております道願正歩です。私は、千葉県作業療法士会の運営に携わった経験はございませんが、作業療法士として従事する中で、作業療法士会の皆様にサポートしをして頂いていることを日々実感しております。特に、様々なテーマの研修会を企画して頂くことから、多くの情報を得て、作業療法士の活動に活かすことが出来ています。サポートをして頂く中で、私も千葉県で勤務されている作業療法士の皆様のために何かできることはないかと思い、今回立候補させていただきました。代議員という立場から、皆様と共に千葉県作業療法士会を盛り上げていければと思います。皆様のご支援を頂戴出来ましたら幸いです。何卒よろしくお願い致します。
所属	東京湾岸 リハビリテーション 病院	
氏名	佐々木 海人	このたび千葉県作業療法士会の代議員選挙に立候補いたしました。私は、2013年に東京湾岸リハビリテーション病院に入職し、回復期病棟の勤務を経て、現在は生活期の通所・訪問リハビリテーションを主に従事しています。また、千葉県作業療法士会の活動では、福祉用具対策委員会の一員として、福祉用具の啓発活動や研修企画等に携わっています。生活期ではご自宅の生活となるため、様々な環境調整や福祉用具の活用が非常に重要なポイントとなります。会員の皆様が少しでも患者様、利用者様へより良い提案ができるよう、今後も邁進してまいります。また、作業療法士にとって生活期は特に専門性を問われる場と認識しています。生活期の立場から、皆様と一緒に作業療法活動を考えていきたい、という思いから立候補させていただきました。格別のご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。
所属	東京湾岸 リハビリテーション 病院	
氏名	土居 義典	この度代議員に立候補させていただきました土居義典と申します。私は20年間に渡り地域における作業療法士として活動しております。地域内では訪問におけるリハビリテーション、職業リハビリテーションの2つを専門としております。その中で他県ではありますが県士会の理事にて運営の舵取りを行った経験、また日本作業療法士協会制度対策部保険対策委員会介護保険班班長にて介護報酬における要望及び改定情報の集約等における業務も歴任しております。これから地域包括ケアが中核となる中で地域において活動している作業療法士がさらに専門性を高め地域貢献できるように 行政や県士会が推進すべき方向と担当区内の作業療法士の「声」を重ね、また今までの経験値も生かしながら、会員と千葉県作業療法士会の発展のために活動していきたいと思っております。
所属	株式会社 リボン	
氏名	古城 哲也	この度、代議員選挙に立候補いたしました、有限会社総合リハビリ研究所の古城哲也と申します。これまで病院、老健、通所介護で作業療法士として勤務し現在は生活介護施設で勤務しております。今まで県士会のイベントや研修会を通して多くの作業療法士の方との交流をさせていただきました。この中で横の繋がりの大切さをとても強く感じる事ができました。昨今の情勢によりなかなか対面でお会いできることが少なくなっておりますがそのような中でもWEBを使用するなど県士会活動が継続されているところに魅力を感じています。今回このような情勢の中でも活動を継続されている千葉県作業療法士会の発展に微力ながら貢献させていただきたいと思立候補いたしました。どうぞよろしくお願い致します。
所属	リボン 生活介護	

東総選挙区 立候補者 5名 (定数 6名)

氏名	今野 和成	総合病院に勤務し、急性期リハビリテーションに従事するとともに、地域リハビリテーション広域支援センターとしての市町村事業への派遣協力や研修事業、高次脳機能障害事業などにも参画しております。
所属	総合病院 国保旭中央病院	県士会活動において、今期は東総ブロックならびに災害対策委員担当理事を拝命し、活動して参りました。引き続き、会員ならびに県民を守るための災害対策活動、地域包括ケアシステム構築に貢献するような地域リハビリテーション活動などを県士会活動の中で行ってみたいと考えております。今回代議員2期目の立候補となります。どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人 千葉県作業療法士会代議員選挙公報 4

氏名	渡邊理恵	前回に引き続き、代議員選挙に立候補させていただきます渡邊 理恵と申します。
所属	国立病院機構 千葉東病院	私は、これまでは精神科での勤務を長年続けてきましたが、昨年の4月に異動があり、初めて身体障害領域の分野で、国の政策医療の一つにも挙げられている神経難病や重症心身障害者(児)の作業療法を行っております。私は就職してから多くの作業療法士の方と接してきましたが、政策医療を担っている施設やそこに関わる作業療法士が少ないのが現状です。また、身体障害領域で働いてみてわかったことは、患者さんの中には精神疾患を持ち合わせている方が少なからずいることです。 代議員選挙に当選した際には、新たな分野で獲得した技術や知識を活かすとともに、これまで経験してきた精神科での経験を活かして、更なる千葉県の作業療法の発展に貢献していきたいと思っております。
氏名	鈴木耕平	今回代議員選挙に立候補させていただきました鈴木耕平です。今まで県士会では委員会に参加させていただくことがあり、その中で様々な委員・受講生との関わりがあり蛙が大海を知るための一助となりました。しかし常々思ったことは複数の委員会があるにも関わらず同じ人が複数掛け持ちをしていることが分かりました。1000人を超える組織のほんの一部の人が運営している状況で負担も大きいようでした。まだ参加したことのない人でも積極的に関わっていただけるような組織であってほしいと思っております。そのため自分でも見ているだけでなく、色々な話を聞き、組織に対し意見ができる必要性を感じ立候補させていただきました。宜しくお願い致します。
所属	介護老人保健施設 のぞみ	
氏名	池滝雅之	引き続き立候補させていただきました。
所属	さかえ ケアセンター	微力ではありますが、千葉県作業療法士会の発展の一助となれましたら幸いです。 宜しくお願いいたします。
氏名	五味幸寛	新型コロナウイルスの感染拡大によって、作業療法の臨床活動が制限され、養成教育においても対面での授業や臨床実習の遂行が困難になるなど多大な影響を受けています。このような状況において、私たち作業療法士は互いに連携を密にして知恵を出し合い、質の高い臨床、教育を維持していかなければならないと感じています。
所属	国際医療福祉 大学	私は、県士会において平成28年度から学術誌編集委員を、平成30年度から代議員を務めさせていただいております。多くの県士会員の声を聞き、千葉県作業療法の更なる発展に貢献したいと思い、再び代議員に立候補させていただきました。

千葉中央選挙区 立候補者 10名 (定数 11名)

氏名	安森太一	千葉県千葉リハビリテーションセンターの安森です。千葉県作業療法士会の活動として、運転特設委員会の委員長を務めさせていただいております。運転特設委員会は3年間の時限的委員会でしたが、コロナ禍で活動できない期間がございましたことから、設置期間を延長させていただいております。運転特設委員会としては、運転のみならず、千葉県の作業療法士が行う『移動支援』全般のお手伝いができるように取り組んでいけたらと思っております。
所属	千葉県千葉 リハビリテーション センター	代議員として、微力ではございますが、千葉県で活躍されている作業療法士の皆さんやその先の患者様のために、尽力したいと思っております。よろしく願いいたします。
氏名	大塚栄子	代議員に立候補させていただく大塚です。この2年間は理事および地域共生社会推進委員長を主に務めてまいりました。微力ですが会員の皆様の意見を反映できるよう努めたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。
所属	植草学園大学	
氏名	有川真弓	平成24年より千葉県立保健医療大学で作業療法士の養成教育に携わっています。平成28年度より千葉県作業療法士会の理事となり、また事務局長を仰せつかり、力不足ながら6年間活動を進めてまいりました。会員の思いが県士会活動に反映されるよう尽力したいと思い、立候補をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。
所属	千葉県立 保健医療大学	

一般社団法人 千葉県作業療法士会代議員選挙公報 5

氏名	露崎雄太	おゆみの中央病院の露崎雄太と申します。 一昨年、昨年と千葉県作業療法士会代議員、理事として活動してまいりました。千葉中央ブロック、広報委員会、ホームページ委員会、福祉用具対策委員会で担当理事として、現職者共通研修委員会、臨床実習指導者講習会委員として県士会活動に取り組んでまいりました。 引き続き代議員として活動させていただき、皆様の声を県士会の活動に反映させ、士会と皆様で足並みの揃った取り組みができるよう尽力させて頂ければと考えております。 未だもって、未熟者ではございますが、ご指導ご鞭撻いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。
所属	おゆみの中央病院	
氏名	松尾真輔	私は千葉県立保健医療大学（仁戸名キャンパス）に勤務しております。千葉県作業療法士会に入会して10年目を迎えます。この間、MTDLP特設委員会や運転特設委員会、ブロック部を中心に様々な委員会に携わり、ここ数年ほどは副会長を務めさせていただきました。直近の2年間は三役として、コロナ感染拡大の影響を受け、感染対策の対応に追われた日々でした。県士会組織としては、まだまだ未熟であり、これからは引き続きくことが予想されるコロナ禍での県士会活動や県士会内外への効果的な情報の発信、また医療専門職団体としての役割を担うことなどが必要な組織です。 今後、県士会員の皆様と共に、「千葉県における作業療法」の更なる発展に取り組んでいきたいと考えております。引き続き微力ではありますが、お役に立てればと思い、立候補いたしました。 皆様、どうぞよろしくお願いいたします。
所属	千葉県立保健医療大学	
氏名	草野考昭	前年度に引き続き立候補させていただきます。コロナ禍の中で、対話機会が減り士会運営などもオンライン上が中心となっていることで会長及び理事の皆様におかれましては運営において苦勞されている部分が多いと思います。今年度も代議員として、県士会の運営及び千葉県の作業療法の発展に微力ながらも貢献できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。
所属	千葉県千葉リハビリテーションセンター	
氏名	吉田尚樹	はじめまして。千葉県千葉リハビリテーションセンターの吉田尚樹と申します。 現在、私は千葉県作業療法士会にて学術部発達障害委員会をはじめ複数の委員会にて活動に携わせて頂いています。私が今回、代議員に立候補した理由は以下の3点です。 1つ目に、会員および地域の声を千葉県作業療法士会に代議員の立場から届けること。 2つ目に、今までの固定概念にとらわれず、会員および地域にとって価値のある提案を代議員の立場から提案できること。 3つ目に、千葉県作業療法士会が会員および地域にとって価値のある活動を提供していくこと。 と考えています。 まだまだ、至らない点はございますが、会員の皆様からの貴重な一票をどうぞよろしくお願い致します。
所属	千葉県千葉リハビリテーションセンター	
氏名	豊田将太郎	この度、代議員に立候補させていただきました。豊田と申します。千葉県のリハビリテーション、作業療法士の発展にご助力させていただければと思い、立候補させていただきました。若輩者ではありますが精一杯努めさせていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。
所属	千葉県みなとリハビリテーション病院	
氏名	宮崎剛	地域での作業療法士の活動・活躍に微力ながら協力できればと思い立候補致しました。
所属	千葉県みなとリハビリテーション病院	会員と理事会のパイプ役を務めることができるように尽力致します。 何卒よろしくお願い致します。
氏名	伊藤孝子	新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない状況ですが、県士会活動の継続・発展に協力させていただきたいと思い立候補いたしました。
所属	千葉県千葉リハビリテーションセンター	よろしくお願い致します。

一般社団法人 千葉県作業療法士会代議員選挙公報 6

南総選挙区 立候補者 6 名 (定数 7 名)

氏名	兼子 健一	このたび、代議員に立候補いたしました千葉医療福祉専門学校の兼子健一です。養成業務では、作業療法士として働くことだけでなく自己成長できる、つまり、様々な経験や役割を果たすことを通じて社会の一員として生きていく力を伸ばし続けられる作業療法士の養成に取り組んでおります。その中で大切にしていることの一つが「つながり」です。「お互いさま」、支え合いのもとで自己理解・相互理解を深めながら成長していくことです。これまで、県士会の臨床実習指導者講習会特設委員会の委員として、講習会に参加された方々の様々な取り組みや考え・思いに触れ、作業療法士の養成について共に考え、成長することが出来ました。これからは代議員として、県士会員の皆様の多様な活動や様々な考え・思いに触れ、千葉県作業療法士会が「Get Better」、より良くなっていく過程に皆様と一緒に関与できれば幸いです。宜しく願い申し上げます。
所属	千葉医療福祉 専門学校	
氏名	須藤 和晃	大学病院に勤務して 20 年経ち、急性期医療を中心に作業療法を展開してきました。また認知症・地域連携・地域福祉などを実践しておりました
所属	特定非営利 活動法人 晃智会	現在は地域医療・地域福祉の運営管理をしており、今まで培ったものを伝えながら地域の為に努力できればと思っております。 千葉県作業療法士会の活動としては財務部の運営をさせてもらっており、今後も千葉県作業療法士会の活動に尽力していききたいと思います
氏名	金木 咲子	大学病院に勤務して 18 年が経ち、急性期医療を中心にがん、緩和医療、外科系疾患を専門とし、物忘れ外来分野でも作業療法を行ってまいりました。現在は訪問看護ステーションの運営を実施して地域医療を支えております。
所属	株式会社 メディアアーレ	千葉県作業療法士会の活動としては財務部・市原市医療連携推進委員を経験させてもらっており、今後も千葉県作業療法士会の活動に尽力していききたいと思います
氏名	水野 陽仁	大学病院に勤務して 14 年が経ち、急性期医療を中心に整形疾患・呼吸器疾患を専門とし作業療法を展開しておりました。現在は地域医療の為、訪問看護ステーションの運営をしております。
所属	株式会社 メディアアーレ	千葉県作業療法士会の活動としては財務部を経験させてもらっており、今後も千葉県作業療法士会の活動に尽力していききたいと思います
氏名	多田 智	大学病院に 24 年勤務して、急性期医療を中心に高次脳機能障害・外傷・神経筋疾患・地域の作業療法を展開してきました。現在は地域医療・福祉の為福祉施設・訪問看護ステーション業務を行っております
所属	特定非営利 活動法人 晃智会	千葉県作業療法士会の活動としては財務部部長を任されており、予算作成・金銭管理業務を実施しております。 今後も千葉県作業療法士会の活動に尽力していききたいと思います。
氏名	下田 辰也	この度、千葉県作業療法士会代議員に立候補させていただきました国保直営総合病院、君津中央病院の下田辰也です。千葉県作業療法士会ではこれまで代議員と南総ブロック長として活動してきました。君津圏域では、現在、君津圏域 PTOTST 連絡協議会会長を務めており、地域のリハ職や多職種との繋がりを大切に活動しております。地域団体が活発に動いている中で、作業療法士としての職域を守るためにも、県士会だからこそ出来ることを再確認し、県士会員の皆さまへ有益で価値のある活動を効率よく伝え、発展に寄与できればと考えております。
所属	君津中央病院	

各 部 局 よ り お 知 ら せ

事 務 局
よ り

令和3年度第1回臨時総会の開催について

令和3年度臨時総会が以下の通りに開催されます。議決権を持つのは代議員のみですが、会員ならどなたでも聴講可能です。なお、感染状況次第では、来場可能人数を制限する場合がございます。その他詳細は、2月下旬以降順次ホームページでお知らせする予定です

日時 令和4年3月21日（月・祝）

9：45 ～ 受付開始

10：00 ～ 11：00 臨時総会（予算総会）

場所 千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス
千葉市美浜区若葉 2-10-1

財 務 部
よ り

次年度県士会費についての大切なお知らせ

今年度（令和3年度）内に当士会を退会される方へ

事務局へ、令和4年3月15日までに「退会届」を提出してください。手続きをされない場合、次年度（令和3年度）に年会費が自動引き落としされます。退会される方は、できるだけお早めに手続きをなさってください。

直接入金されている方で、自動引き落としの手続きをとっていない方へ

千葉県作業療法士会の会員は、原則「会費自動引き落とし」です。手続きをされていない会員は事務局までご一報ください。

※会費の払い込みについて、何かご不明な点がございましたら下記事務局にお問い合わせください。

事務局：〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野 4-21-1 スカイビルおゆみ野 2F

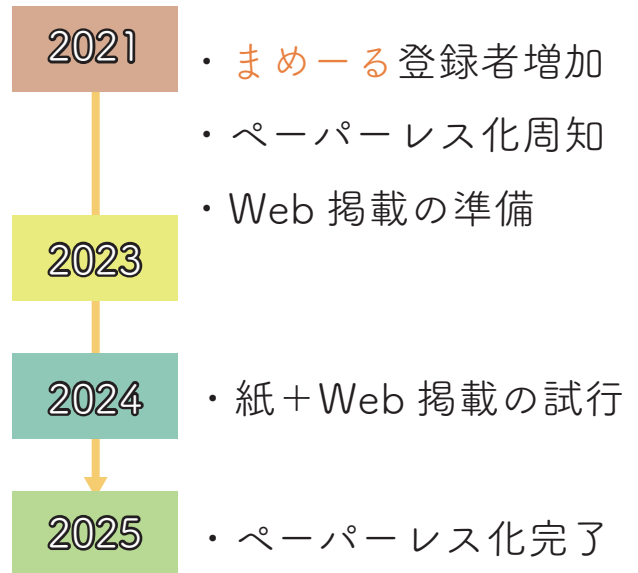
メールアドレス：chiba_ot@yahoo.co.jp

県士会ニュースのペーパーレス化について

昨年より、県士会ニュースにて何度かお伝えしておりますが、今後県士会ニュースは2025年を目標に完全ペーパーレスに移行できるよう作業を進めています。将来的には県士会ホームページで記事を読覧できる事を目指します。

引き続き研修会などの情報は県士会ホームページや、**まめーる**にて情報提供をまいります。
また、Facebook 以外の情報共有方法についても広報委員会内で検討をすすめてまいります。

県士会員の皆様におかれましては、将来情報提供の形が変わることを、ご承知おき頂くとともに、**まめーる**登録をお願いいたします。
また、メールアドレスが変更になった方は、再登録をお願いいたします。



ペーパーレス化に向けての大まかな予定



まめーる (Mmail) ってなあに？

みなさん、「**まめーる**」をご存じですか？

現在、340名ほどの会員が加入されています。

災害時の連絡手段・情報収集を大きな目的としていますが、千葉県の作業療法に関するいろいろな情報や研修の最新のお知らせを、メールで、いち早く受け取ることができるサービスでもあります！

常時お使いの携帯電話やタブレットなどでご加入いただき、ぜひ活用してください。

『そうなんだ。知らなかったー。』という会員のみなさん、この機会にQRコードやメールアドレスからご加入ください。QRコードの場合は読み取り用のアプリを利用するとスムーズに登録が進みます。もし、退会されたい場合も、送られてくるメール「**まめーる**」の文面に毎回退会の仕方が掲載されています。

安心して、ご加入ください。

地域共生社会推進委員会まめーる担当

マメールアカウント：caot_iha0006@mamail.jp



学術部発達障害委員会より

学術部発達障害委員会主催研修会 開催報告

「医療的ケア児を地域で支えるための基礎知識～作業療法士にできること～」

令和4年1月22日（土）「医療的ケア児を地域で支えるための基礎知識～作業療法士にできること～」研修会がオンラインで開催されました。

今回は他職種の方も含め32名の方々にご参加をいただきました。また、千葉県内だけではなく富山県や愛知県など遠方からご参加の方もおられました。

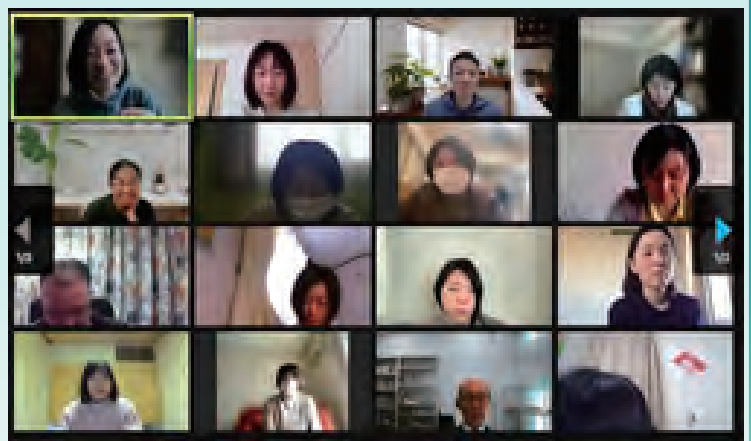
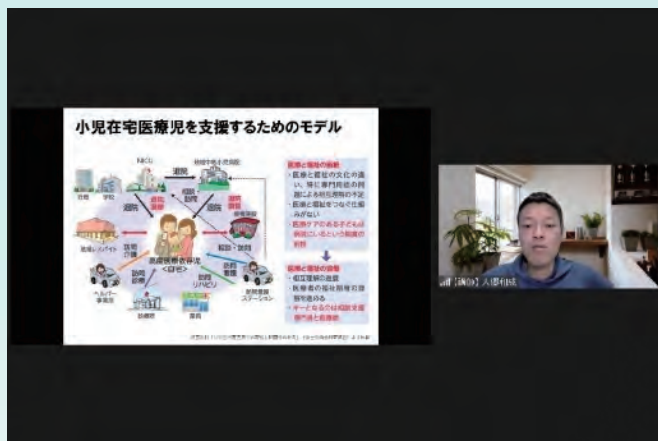
さて、今回の研修会テーマは昨年実施した研修会後のアンケートで希望のあったものです。最近、医療的ケア児はマスコミなどでも取り上げられ、また昨年の6月に医療的ケア児支援法（医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律）が成立し、9月から施行されるなど作業療法士にとってもホットな話題の研修会であったと思います。

研修会では、日本の出生児数は減少しているが、医療的ケア児の人数は増加している。そうした中、子どもたちの参加する場や経験する場の乏しさが問題となっている。家族に大きな負担がかかっている等、現状が説明されました。

講師の大郷先生（作業療法士、医療的ケア児等コーディネーター）は、NPO法人の施設運営を行いながら医療的ケア児や重度の子どもたちの参加活動に熱心に取り組まれており、その考え方やアプローチ方法などクライアントや家族の視点からOTの専門性も踏まえ、作業療法士が取り組むべき課題や視点を明確に解説していただきました。

後半では、Zoomのブレイクアウトルームを使いグループディスカッションも行いました。ディスカッション後の質問タイムでは、実際に医療的ケア児の支援体制づくりを担っておられる作業療法士からも質問があり、非常に濃密で実りの多い研修会となりました。

文責：福山

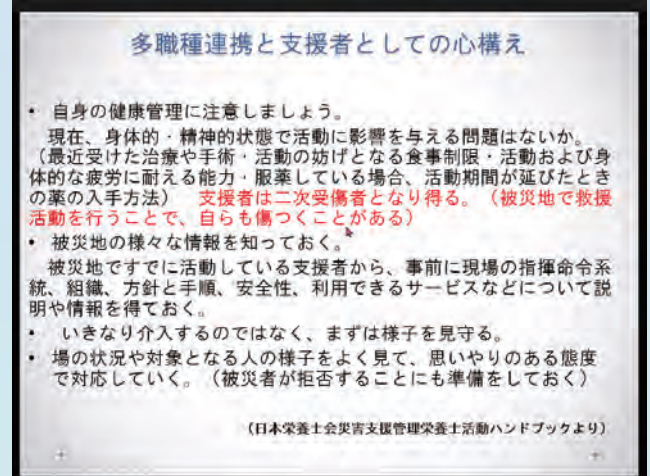


災害対策委員会より

災害リハビリテーション研修会 開催報告

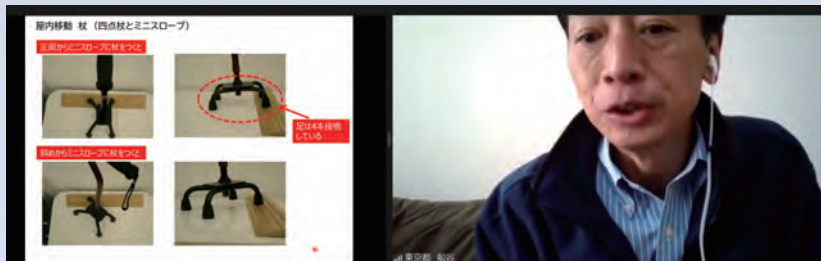
令和4年1月21日に災害リハビリテーション研修会をオンラインにて開催しました。
 今回は千葉県栄養士会副会長で非常災害対策委員長でもある鯨岡春生先生を講師にお招きし、「災害時の『食』への対策と支援」についてご講義頂きました。
 講義内容は、災害の定義から災害における三助、避難所における栄養と食事の課題について、日本栄養士会の災害支援チームである JDA-DAT の組織化の経緯や、平時・発災時の活動など、時に事例を含めながらの非常に多岐に渡る内容でした。
 また、災害に備えた食品の備蓄方法の紹介、発災時の調理についての具体的な方法の紹介もあり、食の重要性を再認識するとともに、一人一人の明日からの備えについて考える機会を得ることが出来ました。

参加者からは、「作業療法士としても栄養を考えることが大切だと思った」「日常の備えとしても具体的な例を挙げて下さっていて参考になった」「多職種連携の重要さを感じました」といった感想をいただき、有意義な研修会であったと評価頂きました。
 本研修会は 2019 年に開催予定であったのですが、同年の台風被害、そしてコロナ禍による延期を経て、実に3年越しでの開催となり、委員会としても感慨深いものがありました。
 災害対策委員会では今後も災害支援や平時からの備えに関して、研修会を開催していく予定です。
 災害対策・支援について一緒に学びましょう。
 ご参加お待ちしております。



福祉用具対策委員会主催研修会 開催報告

福祉用具対策委員会では2022年1月22日（土）14:00～17:00に、テーマ「移動をもっと自由に！福祉用具を活用した生活の工夫」として研修会を開催しました。



当日は船谷俊彰氏（パナソニックエイジフリー株式会社）から「用具を使用した移乗・移動の基礎知識」として、移乗・移動に関する基本的な知識の整理のほか、適合するさまざまな用具があることを紹介していただきました。

次に、太田智之氏（医療法人財団健和会補助器具センター）からは「移乗・移動に関する用具を用いて生活が変わった様々な事例」として勤務周辺の住環境事情の紹介や、対象となる方々の様々なニーズに応え、どのように用具を適合していくのかについて事例を通してご講義いただきました。



そして、麩澤孝氏（ユーザー：頸髄損傷者）からは「自分らしい生活のすすめ - 自由な移動が叶える豊かな生活 -」をテーマに、電動車椅子でのご自宅でのリフトを使用した生活のお話から「乗り鉄」としてさまざまなところに出かけた経験までをお話しいただきました。

その後、船谷氏・太田氏と麩澤氏の2つのzoomのブレイクアウトルームの機能を活用して参加者からの質疑や、講義では聞けなかったさらに踏み込んだお話を聞くことができました。

参加者が少なかったことは残念でしたが、その分ご参加者いただいた皆様は密度の濃い内容をお聞きいただけたのではないのでしょうか。

福祉用具対策委員会では次年度もさまざまな用具を身近に感じていただくだけでなく、多くの対象者に適切な用具選択と適合ができるための視点づくりや、多職種での連携をテーマにした研修会を企画する予定です。

来年度は是非ご参加いただき、皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。

